

タイ協定原産地証明書の記入要領



原産地証明書は、**英語**で記入すること。

<p>1. Goods consigned from (Exporter's business name, address, country) <b>輸出者の名称・住所・国名</b></p> <p>輸入時のインボイスが第三国の者により発行される場合、<b>第三国で発行される旨及び発行者の正式な名称・住所</b>も記入。</p>		<p>Reference No. <b>AGREEMENT BETWEEN THE KINGDOM OF THAILAND AND JAPAN FOR AN ECONOMIC PARTNERSHIP CERTIFICATE OF ORIGIN</b> (Combined declaration and certificate)</p> <p><b>FORM JTEPA</b></p> <p>THAILAND (country)</p>		
<p>2. Goods consigned to (Consignee's name, address, country) <b>輸入者（又は荷受人）の名称・住所・国名</b></p>		<p>4. For official use <b>公用欄</b>                  遡及発給の場合「<b>ISSUED RETROACTIVELY, date of shipment is ... (date)</b>」、                  再発給の場合「<b>DUPLICATE, date of issuance and reference number of original C/O are ... (date), ... (reference number)</b>」と、タイの発給当局が記入。</p>		
<p>3. Means of transport and route (as far as known) <b>輸送の手段及び経路（分かる範囲で）</b> 積出港、積替港、荷卸港、船名又はフライト番号を分かる範囲で記入。</p>		<p>8. Origin criterion (see Notes Overleaf) <b>原産地基準</b> WO、PE、PSのいずれかを必ず記入</p>		
<p>5. Item number <b>項目番号</b></p>	<p>6. Marks and numbers of packages <b>包装の記号、番号</b></p>	<p>7. Number and type of packages; description of goods (including quantity where appropriate and HS code of the importing country) <b>包装の個数及び種類、品名、HS番号</b></p> <p>2017年版HSの6桁番号</p> <p>加えて、必要に応じ、<b>ACU</b> (第29条-累積)、<b>DMI</b> (第30条-僅少の非原産材料)を追記。</p> <p>第1604.14号の産品については、<b>IOTC</b>登録船舶ルールにより、品目別規則を満たす場合、<b>材料名、IOTCに登録された船名、登録番号、登録国名等</b></p> <p>第7類、第16類、第18類~第20類の産品については<b>アセアン第三国の材料名、国名等</b></p> <p>第61類、第62類の産品については、<b>他方の締約国又はアセアン第三国の材料名、加工内容、国名等</b>を記入すること。</p> <p>※<b>熱帯果実ワイン</b> (2206.00-229の一部) 及び<b>「メコンウィスキー」</b> (2208.90-129の一部) については、下記①及び②を追記。                  ① 下記の品名 (熱帯果実ワインの場合) <b>fermented beverages prepared from XX (原料の果実名)</b> (「メコンウィスキー」の場合) <b>Thai local spirits obtained by fermented mixtures of rice and molasses and/or refined sugar; and coloured with caramel</b>                  ② タイ政府が発給する<b>製品証明書のID番号</b></p>	<p>9. Gross weight or other quantity <b>総重量その他の数量</b></p>	<p>10. Number and date of invoice <b>インボイスの番号及び日付</b></p>
<p>11. Declaration by the exporter The undersigned hereby declares that the above details and statements are correct; that all the goods were produced in THAILAND (exporting country) and that they comply with the origin requirement specified for those goods in the Agreement between the Kingdom of Thailand and Japan for an Economic Partnership for goods exported to JAPAN <b>輸出者（又は代理人）が記入。</b> ・証明書申請の日付 ・署名（自署又は署名の形状の印字）</p>		<p>12. Certification It is hereby certified, on the basis of control carried out, that the declaration by the exporter is correct. <b>輸出締約国の権限のある当局又は指定団体による記入。</b> ・日付 ・押印 ・署名（自署又は署名の形状の印字）</p>		

再発給された原産地証明書の有効期間は、オリジナルの原産地証明書の有効期間の残余の期間

遡及発給は、船積みの日から1年以内可能

純重量（ネット重量）でも可

品名は、産品のインボイス品名と、実質的に同一でなければならない。可能な場合にはHSの品名とも実質的に同一のものになるようにする。

完全生産品はWO、原産材料から生産される産品はPE、品目別規則を満たす産品はPSと記載される。

協定第28条第1項(a)から(c)までの適用

一般特惠(GSP)原産地証明書の特恵基準(第8欄)では、「P」又は「W+HS番号」と記入することになっていたことから、紛らわしいので要注意

○原則として日本での輸入申告に使用されるインボイスの番号及び日付。  
・このインボイスが第三国インボイスである場合には、当該第三国インボイスの番号及び日付け。  
・原産地証明書発給時点で、第三国インボイスの番号が不明な場合には、輸出国で発行されたインボイスの番号及び日付け

ゴム印は不可

No. 000000

(注)ここに掲げた記入要領は、日タイ経済連携協定・運用上の手続規則における関連規定の一部を利便性の観点から仮に訳出したものです。運用上の手続規則の**厳密な解釈は同規則の原文(英文)によることとなる**点にご留意願います。